

わたしたちの鹿児島、  
わたしたちで守ろう。

Let's protect Kagoshima's native species by ourselves.

### 》 外来種から鹿児島県の生物多様性を守るために

鹿児島県は南北 600km にも及ぶ県土や 3 つの気候帯を有しています。また、渡瀬線を挟んだ 2 つの生物地理区に属しており、鹿児島県の多くの島々には、固有種、希少種が生息・生育し、独特な生態系が存在します。このため、動植物が持ち込まれることで、生態系に影響を及ぼす侵略的外来種となる場合があります。

世界自然遺産に登録された奄美大島や徳之島のある奄美群島でも、外来種が野生化し定着することで、生態系への被害やそのおそれが生じています。

これらのことを十分に理解し、安易に県内へ動植物を持ち込むことのないようにしましょう。

## 外来種被害予防3原則

### 入れない

悪影響を及ぼすおそれのある  
外来種を自然分布域から  
非分布域へ「入れない」。



### 捨てない

飼養・栽培している  
外来種を適切に管理し、  
「捨てない」。



### 拡げない

既に野外にいる外来種を  
他地域に「拡げない」。



### 》 外来種は悪者なの？

外来種は、意図的又は非意図的に自然分布域外に持ち込まれた生物です。被害を受ける在来種同様、生態系や人の生活環境への被害を防止するために防除される侵略的外来種もまた「被害者」です。そのことを理解し、自らが新たな外来種問題の原因者とならないよう十分に気をつけましょう。

本県の外来種の詳しい情報については！ [鹿児島県 外来種](#)

鹿児島県の外来種の詳しい情報については、鹿児島県のホームページをご覧ください。

URL <https://www.pref.kagoshima.jp/kurashi-kankyo/kankyo/yasei/gairai/index.html>



鹿児島県にお住まいの方向け

# クサガメ 防除マニュアル



クサガメは鹿児島県に影響を及ぼしており、防除対策について検討が必要な種とする「重点啓発種」として選定されています。

わたしたちの鹿児島、  
わたしたちで守ろう。

Let's protect Kagoshima's native species by ourselves.



# クサガメってこんな生き物

## クサガメ

学名: *Chinemys reevesii*

▶ 朝鮮半島・中国大陸原産  
イシガメ科

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
活動												
かごわな												



### 形態

背甲長は最大で雄20cm、雌30cmになる淡水性のカメです。日本産のものは大型で30cmを越えるのがみられます。甲はやや扁平で後縁は鋸歯状にならず、背甲に3本の発達した隆条を持ちます。甲板は黒褐色で腹甲板は明るい黄色に縁取られています。頭部の地色は黒褐色で側頭部～頸部側面に黄緑色の線模様が入ります。雄は尾が長く、付け根が太くなっています。また、雄の高齢個体はしばしば黒化し、全身がまっ黒になります。

### 生態

雑食性で水草、水生昆虫、甲殻類、ミミズ、カエル、魚類等を採食します。基本的に昼行性で日光浴を好みますが、夏季の晴天時は暑さを避け、早朝や夕方によく活動します。冬季は河川の岸辺の横穴や、水の淀んだ池沼の深みなどの水中で冬眠します。

### 繁殖

春と秋に水中で交尾し、6月～7月に産卵します。地面に掘られた巣穴で、一度に4～9個の卵を産みます。



## クサガメによる影響

イシガメ科は種間、属間交雑をおこしやすく、在来のニホンイシガメとの交雑が最も懸念されています。

# クサガメの防除方法

ここを  
チェック!

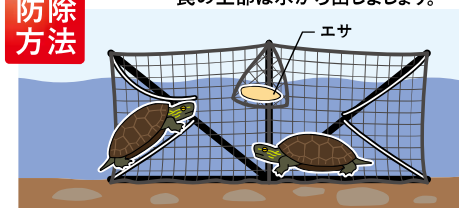
主な生息地 流れの緩やかな河川や低地の湖沼

## かごわな

時期 ● 4～9月

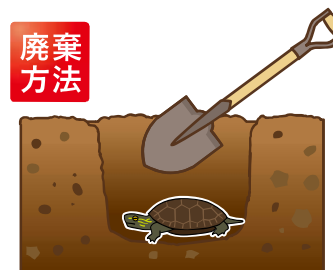
※かごわなを使用する際は  
各自体に確認を行って下さい。

### 防除方法



※カメが息つきできるように罟の上部は水から出しましょう。  
肉や魚の切り身等をエサにしたかごわなを水中に沈め、1日程度設置した後、引き上げて、中に入ったクサガメを回収する。在来のカメ(ニホンイシガメ、ニホンスッポン等)が入っていた場合は逃がしましょう。

### 廃棄方法



ビニール袋に入れて冷凍した後、土に埋めるなどして廃棄しましょう。

### 根絶までの流れ

一年に数回罟を設置し防除を行います。その後、罟を設置した場所やその周辺を確認し、クサガメが見つかった場合は、再度罟を設置し防除を行きましょう。また、確認されなかった場合でも定期的な確認を行きましょう。

## よく似た在来種

間違えないように  
気を付けましょう!



ニホンイシガメ

淡水性のカメで日本固有種である。甲長は約14～21cm。背甲は暗褐色で不明瞭な雲状紋があり、腹甲は一律に黒褐色である。頭部背面は黄褐色である。甲羅の後端がのこぎり状になっており、首に模様がなく、四肢にオレンジの模様がある。



ニホンスッポン

甲長は普通15～25cm。甲羅は柔らかい皮革に覆われている。